

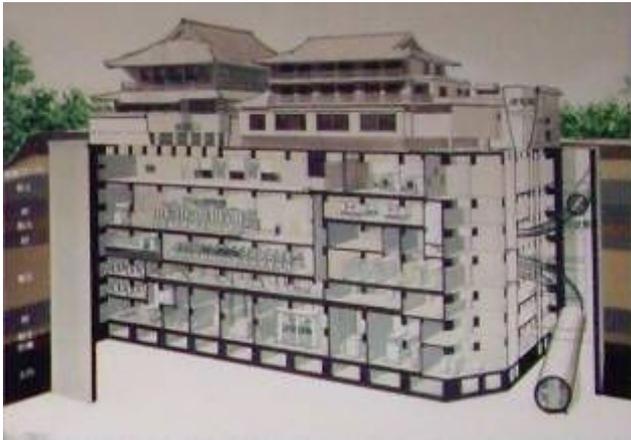
## 東京電力(株)高輪変電所

施設管理者 : 東京電力株式会社  
施設所在地 : 東京都港区高輪  
調査見学時期 : 平成19年3月16日  
施設概要

高輪変電所は、港区高輪にある大きな寺院の地下に建設された非常にユニークな地下施設です。東京電力(株)が変電所建設の敷地を(地上での土地確保が難しいため)地下に求めて、寺院の地下権を購入し、1989年に完成しました。地表からの深度は約36メートル、延べ床面積は19,800m<sup>2</sup>の地下7階RC構造で建設されています。

この変電所には、地中送電線で27万5千ボルトの電気が送られてきます。この電気を6万6千ボルトと2万2千ボルトに変換し、6万6千ボルトの電気は、大きなビル等へは直接、各家庭には配電用変電所を介して送っています。2万2千ボルトの電気は、地下鉄、ホテル、大きなマンションなどに送っています。これらの電気は、現在、港区をはじめ、品川区、渋谷区、目黒区、大田区の一部に安定的に供給されています。

地下施設は一般に地震等の災害に強いことから、東京電力(株)では、万一首都圏で大規模災害が発生した時は一部の電力復旧・復興関係者の集合施設として、この地下空間の活用を考えています。



高輪変電所の概念図



変電所内の見学状況



大型装置搬入経路



地下施設の状況